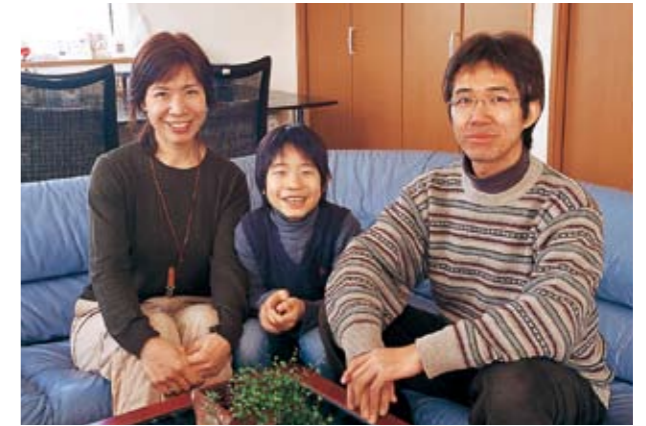


# 北海道で暮らそう

移住者たちの選択



サイディングにテラコート塗りを組み合わせ、ツートンカラーでシャープな印象を与える外観。



「市のサポートがあり、また大山建設さんには良くしていただき、私たちの移住は大成功ですね」と仲西さんご家族。

## スキー大好き。 それなら、雪質のいい 北海道に住もう

大都市圏で安定したサラリーマン生活を続けるよりも、ふと立ち止まり、好きな方向へ舵を切り替え、いざ出発。少しくらいの収入ダウンが何だろう。数字の大きさよりも、新天地で「さあ、今日は何して遊ぶ」と、雪まみれになった家族の笑顔が何よりの財産です。

●大阪府から移住 深川市・仲西さんご家族（夫婦40代・30代、子ども1人）

賑やかなリゾート地よりも、土着している力強さがあり生活基盤も構えやすい深川市の移住窓口を訪ねる

窓から手を伸ばせば、隣のマンションの壁に届く住宅密集地に住まい。小学校はどこも、池田小学校の悲惨な事件以来、児童たちが登校すると鉄条網にがちり鍵を掛け、まるで牢獄のよう。仲西さん家族が暮らした大阪は、もちろんいいところもたくさんあるけれど、ざわざわとして、どこか殺伐とした環境に「長い人生、変えてみるのもオモロイ」と考えるようになったといいます。また大学時代はスキー部に所属し、結婚式も長野県白馬村のスキー場で挙げたという、筋金入りのスキー好きである「主人」。「スキー場の近くに住めたら、どんなにいいだろう」

という思いを長年胸に温めていたこともあり、「移住！」を行動に移すには十分な動機がありました。

北海道へはもう何度もスキーで来ていましたが、昨年と一昨年はスキーを楽しみながら、レンタカーで移住地探し。札幌や観光地のような賑やかな場所よりも、農業が主産業でどこかゆったりとした時間が流れている深川市が候補にありました。

ほかに「商社マンとして17年間働いてきたので、サラリーマンしかできないんですよ（笑）。そうすると北海道第2の都市、旭川に近いほうが就職もしやすいかなと思って。最も重要な生活基盤の面からも深川市は適した条件にありました。さらに、最近はこの自治体でも取り組んでいますが、積極的に移住促進事業を行い、サポート体制が整っていることもあり、深川市への移住を決定。昨年5月には家族を大阪に残し、「主人単身で、ひと足早く深川暮らしを開始しています。家づくりは一生に一度のこと。遠く大阪で家が出るのをじっと待つことなど、できなかったらどうですか。」

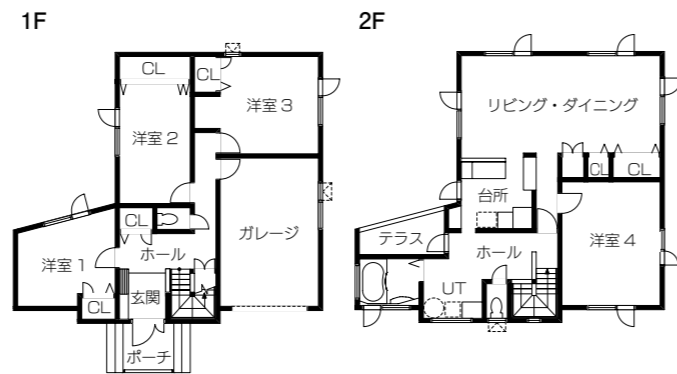
市の登録業者を紹介され、まずはひと安心。地元の風土を知った会社からこそ、家は建ててもらわなければならない。

土地はまず、移住者専用の新規分譲地ではなく、さりげなく市民生活にとけ込めるよう元々ある市有地を選択。家を建てる会社は市に登録している指定業者が入札を行うという方法で、「主人はその中から「断熱素材にウレタンの注入方式を採用し、暖かい家になると期待が持てた」大山建設を選びました。実は、仲西さんご家族は市の移住促進事業の第1号にして、モデルケース。それだけにプレッシャーがあったという、大山建設の大山専務は、「別に、いつもどおりのことをやっていけばいいだけのことなんですけどね。でも、せっかく深川に来て、いい家が出来たって思ってもらえなければ、迎える側としても面目が立たないでしょう」と話します。景色が楽しめるよう2階をリビングにし、アレルギー気



北海道の風景が思う存分楽しめるようリビングは2階に。ダイニングやキッチンもオープンで、広々ワンルーム感覚。

ホームページを開設し、書斎でパソコンに向かう毎日。壁一面に造作した本棚で、本もすっきり。



●大山建設の施工の様子は市のホームページでも見ることができます  
<http://www.city.fukagawa.hokkaido.jp/web/section/kikaku/sumai/>  
 仲西さんの生活アドバイス「まごころ」 <http://e-magokoro.net/>

■建築データ  
 構造規模/木造・2階建て、延床面積/156.07㎡(約47坪)、<主な外部仕上げ>屋根/ガルバリウム鋼板、外壁/サイディング下地+テラコート塗、建具/玄関ドア:断熱ドア、窓:樹脂サッシ(Low-Eガラス)、<主な内部仕上げ>床/カラーフロア、壁・天井/珪藻土、<断熱仕様>基礎/カネライトフォーム(B3)100mm、壁/発泡ウレタン注入100mm、天井/ブローイング300mm、<暖房方式>電気パネルヒーター  
 工事期間/平成18年8月~11月(約3ヵ月)

設計施工/(株)大山建設  
 深川市5条12番28号  
 TEL 0164-23-2988 FAX 0164-23-3174  
 E-mail: oyama-bm1@imzge.ocn.ne.jp



1. ポップで楽しい空間演出がなされた階段ホール。  
 2. 土間部分にタイルを埋め込んだ玄関は「かわいい」と友人たちからも大好評。  
 3. 使いやすい業務用のキッチンを入れている。裏手の洗面所への出入りもしやすいレイアウト。  
 4. さすが大阪出身。ご家族は阪神タイガースの大ファン。「かっ」とばせー、赤星」と息子さん。

味の奥さんと息子さんを気遣って珪藻土を使うなど、ご主人の明快な要求にもしっかりと応え、最終的にはお互い納得のいく家が完成。  
 オール電化の家は初めてという奥さんは「電気北海道の冬が本当に過ごせるのかどうか不安で、大阪から石油ストーブを持ってきたんです。でも暖かくて、必要な気が味わっています」と優しい表情をのぞかせます。  
 週に1度は家族と近くの深川スキー場へ行き、北海道ライフを満喫している仲西さんご家族。商社マン時代にファイナンシャルプランナーの資格を取っていたので、就職もあつという間に決まりました。旭川まで片道40分の通勤時間も「大阪に比べれば楽勝」と順風満帆の滑り出しです。  
 今回、多くの人の協力があったって念願の移住を成功させたご主人は、自らを移住プランナーと名乗り、1人でも多くの移住希望者の夢が叶うようインターネットで生活アドバイス「まごころ」を開設しています。「これからはボランティアとして、移住する人の力になりたい。それが、北海道への恩返し」と意欲的に話すご主人。  
 開拓時代から続く移住の歴史。そこには助け合う人たちの姿がありました。平成の移住もまた「支え合い」が繰り返されているようです。